

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和6年7月11日
NO.5 文責 菊谷

キャリア

農業王国 帯広・十勝の素晴らしさ

JA かわにし青年部のみなさんの思い…

キャリアプランニング能力（「働くこと」の意義を理解し、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力）の育成を目指します。

6月19日（水）、今年度も総勢14名のJA かわにし青年部の皆さんが、大きな牛の模型を軽トラックに積んで、豊成小学校に来てくださいました。帯広市の「食育推進サポーター事業」の一環で、5年生の総合的な学習「私たちの食と農業を考えよう」の2時間を出前授業として担ってくださっています。



1時間は、室内で「帯広の農業と酪農」について学びました。農業王国と呼ばれている十勝で栽培されている小豆、長芋、ビートなど作物のことや、酪農、農業という仕事へのやりがいや思いなどを聞くことができました。もう1時間は、グラウンドで自動運転のトラクター試乗と、教材園で育てているバジル、ミニトマト、ピーマン、トウモロコシ、ジャガイモの育て方を、その道のプロが丁寧に教えてくださるという貴重な時間でした。



「農業という仕事は、天候に左右され、たくさん収穫できるときと、そうではないときがあって大変ですが、みなさんの食卓に安全でおいしいものを届けたいという思いをもって仕事をしているので、みなさんには、帯広、十勝の農業・酪農の素晴らしさを少しでも感じながら食事をしてほしい。」

と最後に話してくださいました。十勝の農業、酪農への熱意が伝わる講座でした。

学習の振り返り

- 今日の学習を通して、農家さんが1つの野菜を育てるのにとっても苦労していることがわかった。十勝の小豆はブランドになっているすごいものだと思いました。
- 牛や作物は生きものなので大変な仕事なのに、やりがいを感じているし、楽しそうに話している青年部のみなさんがすごいなあと思いました。感謝していただくことにします。
- 酪農の仕事は1日も休みがないことがわかりました。給食の牛乳は感謝して飲みたい。